



国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2011-2012 ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

vol. **10**
2012.4.1



長谷寺絵馬「坂上田村麻呂蝦夷征伐図(延宝4年)」

C O N T E N T S

- 2 ガバナーメッセージ
「雑誌月間に寄せて」
- 3 青少年交換プログラム
中四国3地区合同オリエンテーション報告
- 4 米山学友会 第7回総会 及び
米山記念奨学生歓送会 報告
- 5 第4回諮問委員会 報告
- 5~6 我がクラブに この人あり
- 7 益田西RC創立35周年記念式典に寄せて
- 8 第8・第9グループIM報告
- 9 第3・第4・第5グループIM報告
- 10~11 地区だより(2月)
- 12 出席報告(2月)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度
国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2011-2012年度ガバナー 伊藤文利



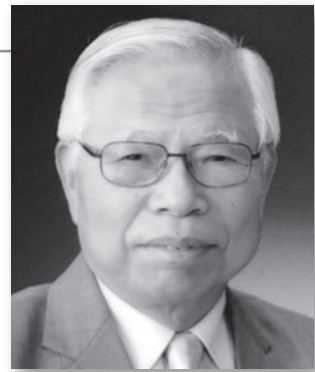
こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

ガバナーメッセージ

雑誌月間に寄せて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

伊藤 文利



1;ロータリアンの3大義務

皆さん、ロータリアンの3大義務をご存知でしょうか、それは、1:会費納入、2:例会出席、3:RI公式雑誌購読の3つであります。ことほど左様に、「ロータリーの友」購読が本邦ロータリアンにとって重要な意味を持つものであると認識して下さい。その為、国際ロータリーは毎年4月を雑誌月間と定め、改めて公式雑誌購読の重要性を我々に喚起したのであります。

2;ロータリー雑誌、世界の仲間たち

現在、世界中に30のRI公式地域雑誌とRI自身の公式雑誌「The Rotarian」を合わせ合計31誌が「Rotary World Magazine Press」と総称され、その各々はその発行地域ロータリークラブ、会員のお国柄を表す特色ある奉仕活動などを掲載すると共に「The Rotarian」誌から指定された記事をその地域で使われる言語に翻訳し、月号に特集するよう義務づけられています。

3;「ロータリーの友」誌の歴史

昭和24年、国際ロータリーに復帰した日本のロータリーは、順調に発展し、昭和27年7月、東西2地区に分割されました。分割前、日本全国のロータリアンが一堂に会す最後の地区大会は昭和27年4月、大阪で開催され、その折、分割しても今まで同様に連絡を密にしようとする共通の機関紙発刊が決議されました。そして、昭和28年1月に創刊号を発刊し、雑誌名は会員投票の結果「ロータリーの友」と決まりました。創刊当初、発行数は毎月3300部であった「友」は現在、通刊700号を超え、10万部前後発刊されていますが、その数には隔世の感を覚えます。

4;「ロータリーの友」地域雑誌としての役割

ロータリー章典によれば、地域雑誌の役割として9項目記載されているが、この中で私が注目した2項目のみを紹介します。

① その雑誌の編集内容はRI方針に合致する事。そして、少なくとも内容の50%以上がRIを含むロータリー全般と

地域のロータリアン奉仕活動に関連する記事である事。
② その雑誌はロータリーの品位と特質に相応しく、全体的に格調の高い内容と魅力的な外観を保つ事。

私は入会以来「ロータリーの友」を毎月通読していますが、「友」はRI方針に忠実な編集内容であり、地域雑誌の役割を十分に果たしていると確信します。特に、芸術的な表紙、そして多彩な記事や写真で示す奉仕活動の数々、そのレイアウト等が読者を惹きつける要因だと思います。一方、日本的な編集方法として雑誌前半を横組み、後半を縦組みページにした試みは他に例を見ないので、とても新鮮味を感じます。その意図を察するに前半の横ページは最新の「RI会長メッセージ」、「ロータリー情報」など、ロータリーを少しでも多く学んで欲しいと言う願いが滲み出ています。実際、「友」を熟読するだけでロータリーは十分に学べるし、理解できます。一方、縦ページはロータリーの真髄である「親睦」を中心にした内容で、ロータリー生活をゆったりと楽しもうと言う意図が強く感じられます。これらの内容はRI編集方針に完全合致するものであり、歴代の「友」編集部の見識とそのご努力に敬意を払いたい。皆さん、これからも「友」を愛読し、勉強しましょう。更に、ロータリーの広報に役立てるべく自分の職場、公共の場所などに本誌を陳列させてもらい、ロータリーの公共イメージアップに「友」を大いに活用しましょう。

5;ガバナー月信

ガバナーとしての義務の一つは「月信」発行です。皆さんとガバナーを結ぶ赤い糸の一つなので、私は毎月、心を込め、お一人お一人の顔を思い浮かべ、悪戦苦闘しながら書き込んでいます。私は経費節約の為、「月信」の電子化を当初考えましたが、老若全会員に読んでもらう為にも時期尚早と判断し、紙印刷にこだわり、従来型の形態にしました。毎月の地区内の出来事、お祝い、会員の消息などを取り上げ、地区とクラブ・会員のネットワーク作りにも貢献したいと考えています。皆さん、「月信」の愛読と活用をお願いします。

青少年交換プログラム 中四国3地区合同オリエンテーション 報告

青少年交換委員会委員

北 國 恵 久



2012年2月4日(土)～5日(日)の2日間、毎年恒例の第2670地区、第2710地区、第2690地区合同オリエンテーションが倉敷シーサイドホテルで開催され、Inbound(受入学生)、Outbound(派遣学生)、Rotex(帰国学生)合わせて24名の明るく生き生きとした顔がたくさん見えました。

1日目は、元青少年交換委員長長の若林洋一様(第2520地区栗駒RC)・鬼丸昌也様(特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス創設者/理事)両講師指導のもと留学生としての心構えなどの研修が行われました。伊藤文利ガバナーは挨拶の中で自らがかつてお世話されたオーストラリアの受入学生の話をして、そのご縁を大切にその後も交流を続けることの大事さをお話されました。

始めは緊張していた学生たちも、次第に慣れてきて自分の事や考えをきちんと話すようになりました。後半の部では、全員が得意のパフォーマンスを披露。日本舞踊、ダンス、空手、剣道、書、歌、太鼓、フルート演奏等様々なパフォーマンスを見せてくれました。中でもフランスから来ているMarie VINCENTという女の子は、自らが書いた日本地図の中に47都道府県名を全て漢字で書き込んで皆を驚



かせました。

2日目は、Outboundは引き続き両講師からご講義を受け、Inbound、Rotex学生は5人のロータリアンで引率してのエクスカージョン。行先は倉敷美観地区と備前焼窯元です。倉敷での日本文化の体験はとて興味しんしんで目を輝かせていました。森田昭一郎ガバナー・エレクトが経営の森田酒造を訪問したところ、ちょうど御本人がおられて、自身経営の隣の「平翠軒」というお店に案内して下さいました。そこで楽しい一時を過ごしその後みんなで店の前で写真を撮りました。

備前焼体験では、まず窯元の人に指導を受け、各々思い思いに悪戦苦闘しながらも粘土をこねていました。学生達の話の中で、外国に行ってみて初めて自分の国というものを強く意識するようになり、自国の文化を知る事の大切さを強く感じたと何人もの学生が話してくれたことが印象に残りました。また、学生達は留学するとみんな積極的になって自分の主張をきちんとするようになるものだと感じました。ロータリーの青少年交換プログラムの意義を少し勉強させて頂いた二日間となりました。





こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

米山学友会 第7回総会 及び 米山記念奨学生歓送会 報告

地区米山奨学会委員長 高木新一

米山学友会第7回総会

2月18日(土)倉吉シティホテルにおいて、伊藤文利ガバナー、学友7名、現役奨学生11名、カウンセラー、指導教官ご出席のもと、米山学友会第7回総会を開催しました。

この日の倉吉はあたり一面の銀世界。県内では「大雪警報」が出ていました。そのため交通機関・道路状況が乱れ、出席予定の森高正地区米山記念奨学会理事が急遽欠席となるなどの当日変更がありました。

総会は、伊藤ガバナーから森理事のメッセージを含め、米山記念奨学会の理念に基づいたご挨拶をいただいた後、梁榮友学友会会長から活動報告がありました。

梁会長は、本年度諸般の事情でバン格拉ディッシュのラマン会長から途中交代となったこと、これから更に学友会を活発にしたいことを説明されました。

現在の2690地区の学友会は、約80名が登録されています。これから現役奨学生も学友会に登録することになりますが、交流の輪を広げるために会報の発行、ホームページの作成など提案されました。各クラブへの訪問も積極的にやりたいとのことでもあります。

また、同時に活動を行っていく上での会則変更と役員変更の提案があり、学友会全員一致で承認されました。

次年度も経験豊かな梁会長のもと素晴らしい活動が行われますよう期待しております。

なお、翌日に倉敷で地区チーム研修セミナー等を控えているため、ガバナー・エレクト事務所からは、その準備のため今回やむをえず出席できないことになりました。

米山記念奨学生歓送会

学友総会に引き続き、2012年3月で奨学期間を終了する奨学生の歓送会を開催しました。地区役員4名、米山記念奨学生11名、カウンセラー10名、指導教官2名、米山学友7名の34名にご出席いただきました。

伊藤ガバナーから、最初に奨学生、カウンセラー、指導教官への心のこもった挨拶がありました。伊藤ガバナーの米山記念奨学生、関係者へ熱い思いが十分に伝わりました。その後、ガバナーから奨学生に「終了証」、カウンセラーに「感謝状」が贈呈されました。

次に、井戸垣地区代表幹事のご発声による乾杯で昼食会が和やかに始まりました。各テーブルでは、和気あいあいのムードで笑顔が絶えませんでした。

いよいよ本日のメインイベントのスピーチの時間となり、クラブごとに奨学生・カウンセラー・指導教官がステージに立ちました。奨学生からはカウンセラー様との思い出や感謝、ありがとう、愛などの言葉が、また将来の夢やロータリーへの恩返しなどの感動のスピーチがありました。中には、今春、倉吉で就職しますという嬉しいニュースをくれた奨学生もいて、縁を感じました。

カウンセラー様からは奨学生との家族ぐるみのお付き合いが貴重な経験になったこと、奨学生からたくさんのパワーをもらったことなどのお話がありました。

指導教官からは、奨学生がみせた根性や、たくましさについてのお話がありました。

最後に学友の方々からも一言ずつご挨拶をいただきましたが、自分が奨学生だったことを思い出しながらのユーモア溢れるスピーチでした。

ある指導教官の「このようなほのぼのとした何ともいえない良い雰囲気のは初めてです」と言われた背景には、皆様の前向きの姿勢、明るさ、元気さがあつたと感じました。

奨学生の皆様も、この日の気持ちを忘れずに世界で活躍されることを祈念しています。

今回、岡山からは貸し切りバスを用意しました。帰りの車中でも交流ができて楽しい会になりました。ありがとうございました。



第4回諮問委員会 報告

日 時：2012年3月3日（土）11：00～12：15
会 場：倉敷アイビースクエア

《協議事項》

[伊藤ガバナー事務所より協議事項]

第2690地区としての東日本復興支援プロジェクトについて

[森田ガバナー・エレクト事務所より報告事項]

地区資金予算（案）について

《報告事項》

[伊藤ガバナー事務所より報告事項]

- 1.世界社会奉仕 事業活動について
- 2.2012学年度 米山記念奨学生 選考結果報告
- 3.韓国 第3680地区 地区大会について
- 4.今後の行事予定表
- 5.その他
 - ・ボーイスカウト運動へのご支援のお願い

[地区ロータリー財団事務所より報告事項]

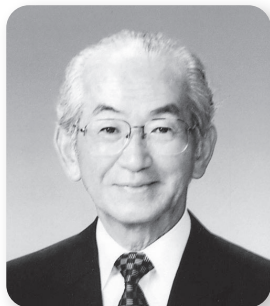
- 1.現在のDDF残額について
- 2.G事務所と地区R財団事務所の業務分掌

3.地区R財団事務所資金の収支予測

[森田ガバナー・エレクト事務所より報告事項]

- (1) 地区目標・地区テーマについて
- (2) 公共イメージ向上委員会（2690アワード）について
- (3) 2012-2013年度 地区委員会組織図について
- (4) 公式訪問予定（案）について
- (5) 会長エレクト研修セミナープログラムについて
- (6) 地区協議会プログラム（案）について
- (7) ロータリークラブ事務局職員研修会（案）について
- (8) 2012-2013年度 地区大会（案）について
- (9) 今後の行事予定について
- (10) 「インターネットを利用したファイル受け渡し管理」について（ガバナー事務局）
 - a) クラウドの導入について
 - b) 上記導入による運営費の削減について
- (11) その他

我がクラブに この 人 あり



岡山後楽園RC

高山 雅之

温厚な人柄であり、健康そのもの、動きはすばやく、カメラ技術はプロ級、ロータリークラブについて語らせるとポール・ハリスか米山梅吉のあとに続くのではと思わせる方です。その人こそ、高山雅之会員（満86歳）です。

高山会員は、長年にわたり岡山県行政に携わり、その経験から郷土文化の向上発展に尽力されてきております。23年前のクラブ発足当時からチャーターメンバーとして我がクラブをリードされ、数々のすばらしい奉仕活動に先頭を切って参加されてきました。その代表例が、伝統ある備中漆の復活のために漆の苗木を毎年植樹する活動です。漆の苗木は厳しい積雪の環境の中、年月をかけて育ち、現在では伝統の郷原漆器復活の大きな支えとなっています。ま

た、日本3大名園として名高い、岡山後楽園の曲水の石磨きを毎年率先して実施されてきており、我がクラブの名たる誇りを高めています。

2011-2012年度は、米山記念奨学会委員長として、広報副委員長として、プログラムと国際奉仕の委員として精力的に動き回っていただいています。今後も体力の続く限り、我がクラブを引っ張っていただきたいのがクラブ員一同の願いです。

岡山後楽園ロータリークラブ 幹事 藤本 隆志





我がクラブに この人あり



児島RC

渡辺 好政

1965年創立の児島RCにおいて唯一人のチャーター・メンバーである渡辺好政・元国際ロータリー理事をご紹介します。

ご本人曰く「傘寿・いまだ青春」、の言葉通り、現在も、現役の眼科医として、また岡山大学客員教授として、ご活躍であります。

ロータリーでは、今年1月には2012年国際協議会並びに元RI役員と同窓会に出席され、当第2690地区の森田昭一郎ガバナー・エレクトの激励をされました。また、2013年リスボン国際大会委員会委員として、現地リスボンの視察をされるなど、国際的に活躍であります。

今年の児島RC創立記念日には、クラブ創立時の貴重なお話を頂き、一同先人の歩んできた道に思いを馳せました。まさに、児島RCの「生き字引」であります。

今後とも、お元気で活躍いただき、我々をご指導頂くと共に、ロータリーを楽しんで頂くように願っております。

児島ロータリークラブ 会長 岡本 紀久雄



児島東RC

荻野 順一郎

"晴れの国「岡山」"を代表する備讃瀬戸の景勝地で例会を持てるのが自慢の一つ、お蔭様で出席率も良好です。又ホームページを検索下さい。毎週の週報が即座にご覧頂けます。当クラブ創立は1973年10月、格調高いクラブを目指し、22名で発足、今年度は創立40周年記念事業の準備中です。現在会員23名(チャーターメンバー4名)小規模ながら多士済々のメンバー内から荻野順一郎君を紹介します。設立時キーメンバーとして、後藤大典君と共に基礎作りに貢献された最大の功労者であります。若くして第三代会長、信州中野クラブとの姉妹提携と交流に尽力され、特筆すべきは今日まで例会出席率100%の偉業を続けられている事です。これは奥様の愛情と健康・食事管理の賜物と本人も言っ

ておられます。東大卒業後東芝に7年勤務の後、家業荻野本店を継ぎ、傍ら昭和44年(株)岡山情報処理センター(OEC)を設立、時代に先がけて電算化に取り組み岡山経済界に貢献、25年間代表者として活躍、その他数社の役員を兼務、現在に至っています。我がクラブでは無くてはならない存在です。今後一層の"絆"を全員で深めます。

児島東RC チャーターメンバー 中嶋 芳郎



現在広報副委員長として活躍中

益田西RC創立35周年記念式典に寄せて

益田ロータリークラブ 創立35周年実行委員長

池内 豊



マーシャル諸島共和国の教育省関係者と田原会長



子供たちによる記念事業ミュージカル「とびらのむこうに」

私達の益田西RCのある島根県益田市は、人口5万人ちょっとの日本海に面した自然豊かなとてもきれいな街です。この地で1977年(昭和52年)3月16日に益田RCをスポンサーとして創立会員30名で発足し、同年6月8日国際ロータリーに加盟承認されました。そして本年まで35年の歩みが続けてまいりました。創立会員も今では1名しか残っておらず時の流れを感じています。現在は会員数31名で日々ロータリー活動を楽しんでおります。

本年は第3・第4・第5グループ合同IMのホストクラブとなっていた関係もあり、去る2月11日(土)に35周年記念式典並びに祝賀会、12日(日)にIMと続けての開催となりましたが伊藤文利ガバナー、山本茂生・葛尾信弘両パスト・ガバナーを始め多くのご来賓の方々のご臨席を賜わり盛會に、又楽しく終えることができました。改めて関係者の皆様へ心より感謝し御礼申し上げます。

私達益田西RCの特徴は、目標が出来た時の会員の団結力とネットワークの良さであります。この特徴は創立来35年かけて培われてきたもので、クラブの奉仕活動にも繋がっています。私達の奉仕活動の原則は、「お互いの顔が見える活動」と「自分達も共に成長できる活動」であります。この度の創立35周年記念式典にも子供達への教育支援の相手国、マーシャル諸島共和国より教育省のBedinin Joseph氏と奉仕活動のコーディネイトをしてくれている同国教育省の松本ちづ子氏も参加して下さい、今までの支援活動の成果状況の報告をして下さいました。又、創立35周年記念事業の一つ、益田市出身の脚本家 田淵久美子さん原作のミュージカル「とびらのむこうに」のリニューアル復活公演(6月23・24日)に出演する子供達が、現在練習中のミュージカ

ルの一部を披露して式典を盛り上げてくれました。このようなお互いの顔が見える活動を通じ、私達は沢山の人の出会いがあります。そして奉仕活動を通じ互いに紡いでいく絆が信頼と感動を生み、それが私達の人間性と奉仕の心を育ててくれます。

昨年、今年と続いた米山記念奨学生の受け入れも奨学生との交流を通じ、そのひたむきさ、熱意に触れ、会員全員がグローバルな視野の広がりや奉仕の理想の心がより育ったことを感じています。

このような素晴らしい奉仕活動の道を示してくれるロータリーに感謝し、これからの新しい一歩をこの奉仕の理想の心をより育てていくことを会員一同で確認できる35周年記念式典となりました。

最後になりましたが、皆様のご厚情に感謝しこれから温かい友情とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



チャーターメンバー山下会員と米山奨学生金鑫さん



第8・第9グループIM報告

第8・第9グループIM実行委員会
第8グループIM実行委員長

森本 信一



2月5日(日)、岡山県北の5クラブ(第8グループ)と岡山県南の6クラブ(第9グループ)によるIMが、300名を超える会員の方々の参加により、津山国際ホテルにて開催されました。

本年は、参加会員の方に、ロータリー情報を共有し、親睦を深めると同時に、ロータリーを楽しんで頂くために、新しい趣向を取り入れるように工夫を凝らしました。

第8グループ協ガバナー補佐の点鐘により、大会の幕がきって落され、参加クラブの紹介に引き続き、伊藤ガバナーから示唆に富んだご挨拶を頂きました。

本日のメインイベントの一つである基調講演では、講師の堀江正彦様より「ロータリーは人をつくる」との地区テーマに則り、ご講演を頂きました。堀江様は津山のご出身で、大阪大学の経済学部、法学部をご卒業、ロータリーの奨学金で、アメリカ、ニューオルリンズの「チュレイン大学」を再びご卒業後、外務省に入省され、フランス、アメリカ・ニューヨークの国連を経て、カタール、ケニア、そしてマレーシアの特命全権大使を歴任された逸材です。その豊富な国際経験から、各地でのご体験、特にマレーシアでのマハティール首相による人づくりの実践等、貴重なお話を伺い、出席者一同感銘を深めました。

その後、初めての試みである、第8・第9グループ同時進行による「新世代の活動力」とのテーマで、グループディスカッションを行いました。新世代奉仕活動に因んだ実績や、今後の抱負等がクラブ毎に発表されました。中でも、第9グループ岡山北西ロータリークラブの小松原会員による「障がい児の社会参加に関する取り組み」

に関しては一同、胸が熱くなる思いで拝聴し、伊藤ガバナーからも感銘を受けたとのご講評を頂きました。

ここで参加者に一息入れていただくために「リラックスタイム」というユニークな時間帯を設け、B級グルメで一躍有名になった「津山ホルモンうどん」の試食、岡山県北の物産を展示即売している「津山市観光協会」訪問、自然史の博物館「つやま自然のふしぎ館」見学等多彩なコースを設け、IMにふさわしい友好と親睦の時間を過ぎて頂きました。ホルモンうどんはアツという間に売り切れ、食べ損ねた方に食い物の恨みを買いました。会議も後半に入り、伊藤ガバナーのユーモアに富んだご所感、次期ガバナー補佐の紹介等で、予定時間通りに本会議を終えました。

会場を変えて、お待ちかねの大懇親会では、「キレイどころ」も、勢ぞろいし、鳥居パスト・ガバナーによる乾杯のご発声に始まり、口の肥えた会員各位にご満足頂けるように、実行委員一同で練りに練った特別料理を堪能して頂きました。後日、メールやファックスで、会議はともかく、「料理は良かった」とのお褒めの言葉を頂いたほどです。記念品には、銘菓「津山ロール」を全会員にお渡しできるように準備、「手に手つないで」のフィナーレで、成功裏にIMを終了することができました。ご協力頂きました各クラブの役員の方々、グループディスカッション参加の皆さま方に改めてお礼申し上げます。

第3・第4・第5グループIM報告

益田西ロータリークラブ IM実行委員長
松本 祐二



須山第5グループガバナー補佐による主催者挨拶



伊藤ガバナーの基調講演

平成24年2月12日(日)に益田市のサンパレス益田で開催しました。「『ロータリーは人をつくる』ロータリーの未来にむかって」のテーマの元に伊藤文利ガバナー、山本茂生パスト・ガバナー、葛尾信弘パスト・ガバナー、井戸垣徹男地区代表幹事のご出席を賜り、会員471名の登録を戴きました。

須山玲治・第5グループガバナー補佐の点鐘に始まり、物部宏太郎・第3グループガバナー補佐の開会宣言で会が始まりました。

基調講演では伊藤文利ガバナーから「『CLPについて』ロータリーの未来に向かって」とのテーマでお話を戴き、2690地区内のCLPへの取り組み状況や今後の展開についてお話がありました。CLPの採用に関して特に強調されたことは、以前は長期計画と表現されていた文言が2011年11月のロータリー研究会で戦略計画と改められ、クラブ運営が成功するための方法であること。第3・第4・第5グループ内の15クラブの中で既にCLPを採用しているクラブは12におよびCLPの先進的集団であるが、問題点も少なくないことが指摘されました。

基調講演の後、休憩をはさんでパネルディスカッション「CLPについて考える」が行われ、コーディネータを益田西RCの松本が務め、第3グループからは松江東RCの川上大会員、第4グループからは出雲南RCの山内瑛明会員、第5グループからは大田RCの齊藤寛会員がパネリストとして登壇されそれぞれのクラブでのCLPについての取り組みや採用してからのクラブの変化について発表されました。

CLPを採用したことでかつての委員会の枠を超えた活動になり、奉仕活動の打ち合わせなどを通じて会員間の理解が進み奉仕活動のスキルアップにつながった事例や、ロータリー活動の理解につながったことなども紹介されました。また小人数の委員会を掛け持ちしている会員が何をすればよいかわからないというようなところからも脱却できている事例、大胆な委員会の統廃合が現実

的な活動量の増加につながっている様子もうかがえました。

発表の後からはパネルディスカッションのために各クラブにお願いしたアンケートを基に追加の発言や質問となり、伊藤ガバナーからの回答や葛尾パスト・ガバナーからも追加発言があり、CLPを採用してのクラブ運営に関して様々な情報を出席者全員が得ることができました。

ガバナー講評の後、次期ガバナー補佐の紹介があり第3グループからは松江しんじ湖RCの和田史朗会員、第4グループからは大社RCの西尾崇会員、第5グループからは大田RCの谷本隆臣会員が紹介され抱負を述べられました。

那須康弘・第4グループガバナー補佐の閉会宣言と須山玲治・第5グループガバナー補佐の閉会点鐘でIMは無事終了しました。

パネルディスカッションの後は会場の模様替えをして懇親会になりました。アトラクションでは、過去のGSEメンバーとして韓国に派遣された歌手のORi-ZURU KAORIさんがステージに上がり、会場と一つになって楽しく懇親の場を盛り上げていただきました。

最後になりましたが、ご来賓の皆さま、ご出席いただいた各クラブの皆さまに感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



パネルディスカッション



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

【 地区だより (2012年2月) 】

(敬称略)

新会員ご紹介

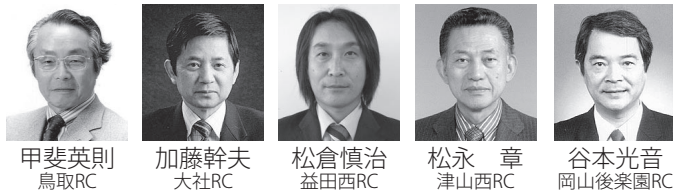


ロータリー財団への寄付

大口寄付者



ベネファクター



メモリアル・コントリビュションへの寄付



ポール・ハリス・フェロー



米山記念奨学会への寄付

米山功労者



【 地区だより(2012年2月) 】

(敬称略)

ロータリー財団への寄付

メモリアル・コントリビューションへの寄付

笠岡RC..... 榎平一郎が、故父 榎平秀一のために
 笠岡東RC..... 福岡啓祐が、故母 藤井邦江のために
 岡山後楽園RC... 松井浩明が、故父 松井明嘉のために

ロータリー東日本震災復興基金への寄付

岡山東RC..... 256.41ドル

ポリオ・プラスへの寄付

岡山東RC..... 256.41ドル

クラブ特別寄付(年次寄付)

鳥取RC..... 878.00ドル	益田西RC..... 1,240.00ドル	美作RC..... 4,900.00ドル
鳥取西RC..... 649.46ドル(新入会員寄付、その他)	笠岡RC..... 362.88ドル(ミリオンダラーミール)	岡山東RC..... 3,493.59ドル(ミリオンダラーミール)
平田RC..... 370.00ドル	笠岡東RC..... 300.00ドル(ミリオンダラーミール)	1,674.46ドル(財団BOX)
出雲RC..... 769.23ドル(ミリオンダラーミール)	128.21ドル(ゴルフ同好会より)	61.28ドル(新入会員寄付)
浜田RC..... 730.00ドル(ミリオンダラーミール)	総社吉備路RC... 1,000.00ドル	91.54ドル(1人1ドル寄付)
益田RC..... 3,220.00ドル	倉敷水島RC... 1,192.00ドル(ロータリー創立記念日に因んで)	岡山中央RC... 951.92ドル(財団BOX)

年次寄付にご寄付いただいた方々

倉吉RC..... 明島淳吾、濱田由紀子、羽合浩次、日比邦彦、樋口俊雄、日野節太郎、廣吉宗一、井戸垣徹男、伊藤文利、岩世 毅、垣田堅二郎、亀井 理、笠見和則、小林健治、倉都 章、倉都祥行、牧原公夫、牧田侑紀、松田啓一、松田 隆、松尾邦太郎、森 和美、本内俊彦、村木晴一、永岡健治、西田龍之介、西谷純美、野島丈夫、能登克浩、岡本博文、沖 礼、奥野寛應、大前拓也、大田佳典、齋木憲久、佐々木福一、佐武紀明、清水成真、菅原伸育、杉島篤美、水谷哲章、平 守、高木新一、高田久之助、田中祥貴、鳥飼高嗣、豊田 勲、津村徹夫、馬野慎一郎、若原道昭、山田健太郎、山田悌次、山本博文、山崎一彰、八島弘明、吉田圭子、吉田武章	笠岡RC..... 山河敏幸、山本国春、岡本 章、山本義和、西山義正、大山桂之、柳生篤成、赤田博文	岡山南RC..... 蛭田二郎、佐伯雅生、池田和真
鳥取西RC..... 麻木宏栄	玉島RC..... 金谷晋爾	牛窓RC..... 阿部公明、尾田 稔、一村 稔、服部恒雄、片桐成佳、大島恩恭、藤井雅司
米子RC..... 勝部不二夫	児島東RC..... 北島和雄	
松江RC..... 井戸内義文、勝谷哲也、田江泰彦、松井裕幸、米田盛造	倉敷南RC..... 柳榮克人	
出雲RC..... 吾郷俊二、浅田憲三、江角彰宣、藤野有弘、福田幸太、福岡利行、布野信之、古津弘也、原 義昭、日野 実、廣田惠春、堀江俊博、井川幹夫、飯島菊次郎、今岡一朗、今若康浩、井上幸雄、石原一徳、海田孝雄、加藤博康、勝部一郎、木佐明宏、黒崎健一郎、松井武男、三吉庸善、森山宗浦、基常日出明、永島弘明、永田浩二、中川正久、中筋豊通、中山健吾、那須康弘、佐藤大造、佐藤誠一、下手公志、曾田文雄、杉浦弘明、竹原敏正、武志 正、恒松徳五郎、渡部 孝、山下一也、矢野一正、遠藤正博、佐藤秀俊、景山 州、谷本幸也、福岡正純、白澤 明	津山西RC..... 入江鈴夫、吉田藤生、番原よし浩、寺本清己	
大社RC..... 福岡邦夫、古川百三郎、石田晴吾、岩永邦夫、岩成健治、加地 寛、金山治正、川上好之、北島清秀、北島建孝、洪 淳永、前島健二、室家隆一、中島孝晃、西尾 崇、小田川博俊、小川進介、千家尊祐、曾田利広、手銭正之、手銭白三郎、上野良亮、吉田博晴、吉川良一、若石秀一、加藤幹夫、和田晶夫、山根俊二、渡部 稔、小松博幸、川角直人、竹並一人、今岡 豊、草谷ちあき	岡山東RC..... 青山英康、土井雅人、藤井一也、藤原 徹、舟橋弘晃、日名一誠、井上 一、井上英雄、井上和宣、石井英行、木村 旭、北村正彦、眞殿重喜、三垣日出人、森元幹雄、西本 晃、西尾正紀、西下裕平、岡本 哲、大澤俊哉、齊藤博田、諸國眞太郎、高藤祚嗣、武 和志、富岡正機、友野昌平、内山 淳、浦上澤之、若林宣夫、渡邊慎一、山下和也、山下貴司、横手典明、吉野夏己、阿部英夫、赤松興一、安藤究真、児島正和、児島道浩、近藤聡司、三好和宏、齋藤信也、斎藤良仁、更井正人、世戸光朗、白髭勇一、竹本 治、山田泰照、山本督憲、池田博昭、井上孝一、村松 太、大橋正禎、佐藤英明、片山大輔、小山幹雄、國貞繁樹、岡村和則、小野 剛、大塚康吉、谷本光音、岡本宮松、高原弘海	
	岡山後楽園RC... 赤木 匠、浅海淳一、土井基之、藤本隆志、福島正春、居森正而、片山大輔、小山幹雄、國貞繁樹、岡村和則、小野 剛、大塚康吉、谷本光音、岡本宮松、高原弘海	
	岡山中央RC... 荒木雷太、浅田祐次郎、武用彦彦、江原芳男、榎並英子、井上博之、入野昭三、石津日出雄、岩城孝男、甲斐志郎、梶田良雄、河田隆介、河田佳子、川口慶行、河本範義、木口盛雄、小林敏成、小西忠孝、河野昌晴、小武守研二、守谷欣明、中野和之、仁木安一、小田 慈、小川 昇、大田原俊輔、小野 隆、尾坂明義、太田正和、坂本素子、杉山 守、田尻 淳、田中秀和、田中宏一、湊増泰太郎、浮田三郎、浮田美意子、浦田永二、渡邊浩哉、山下龍子、横畑利行、吉田治郎、吉田 守、青山 肇	

米山記念奨学会への寄付

クラブ特別寄付

鳥取RC..... 54,800円(米山ランチ)	笠岡東RC..... 10,000円(ゴルフ同好会より)	倉敷東RC..... 22,500円(米山BOX)
--------------------------	------------------------------	---------------------------

クラブ普通寄付

倉吉RC..... 145,000円	大社RC..... 107,500円	児島RC..... 72,500円	津山RC..... 222,500円
倉吉中央RC..... 23,000円	大田RC..... 50,000円	倉敷東RC..... 107,500円	岡山城RC..... 54,000円
平田RC..... 55,500円	総社吉備路RC..... 87,500円	真庭RC..... 165,000円	岡山西RC..... 187,500円

特別寄付をいただいた方々

倉敷東RC..... 赤木幸也、遠藤治郎、遠藤亮之、藤 雅子、藤波安勇、藤原光啓、原田博史、林 伸雄、平井正敏、廣瀬成史、今井真貴子、今岡道雄、小林春男、小山 徹、黒田健一、松原 淨、松田健一、松本ゆみ、三島節子、三宅顕隆、三宅政博、三宅俊弘、室山宣英、西山敬二、岡 晃、岡本英人、岡本 淳、小野 久、小野 聡、太田隆温、佐々木孝之、杉原弘生、武部洋治、武田久和、田中陸男、富永勲秀、鳥越秀二、植木一行、上岡修作、山田秀樹、山田 暁、吉田澄利、吉岡 保	岡山後楽園RC... 赤木 匠、青山慎吾、浅海淳一、藤本隆志、福島正春、長谷博明、島瀬真治、居森正而、若根宏行、國貞繁樹、丸山夏樹、佐伯行生、内山満義、吉田啓一
--	--

特別寄付をいただいた法人

米子RC..... (株)ラポールエステート 50,000円

表紙・長谷寺絵馬 坂上田村麻呂蝦夷征伐図 延宝4(1676)年 縦163.1cm×横181.0cm

画面の左上に、飛雲に乗じた神々しい十一面千手観音を見つけたとたん、絵の印象が変わります。騎馬武者を援護して弓矢を手に、観音もまた、戦っています。傍に戦を突き出す毘沙門天を置いて、対する右に、沢山の鬼を従えた赤顔の悪王を描きます。

千手観音の2本の腕を頭上高く掲げた異形は、京都清水寺本尊の特徴です。平安初期の武人、坂上田村麻呂は、蝦夷を鎮圧して征夷大將軍

となり、翌年、清水寺を創建しました。田村將軍は東北遠征の成功は観音の変化した毘沙門天と地藏菩薩の加護によるものと感謝し、毘沙門天像・地藏菩薩像を清水寺の脇侍としたと伝えます。

西国第16番札所、清水寺の本尊と脇侍は秘仏で、ご開帳は33年に一度、次回は2033年の予定です。また、坂上田村麻呂に太刀を献じたという大原安綱は当地、伯耆国の刀工です。

出席報告 (2012年2月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数					
				7月1日	2月末	内女性 会 員	増減					7月1日	2月末	内女性 会 員	増減		
第1グループ	智 頭	77.14	67.14	5	11	14	1	3	第7グループ	児 島	77.78	69.23	4	28	30	0	2
	倉 吉	96.98	79.74	4	55	58	3	3		児 島 東	90.22	85.87	4	23	23	0	0
	倉吉中央	85.00	61.67	5	23	24	2	1		倉 敷	99.07	86.02	4	77	85	0	8
	倉吉東	95.35	69.19	4	44	42	2	-2		倉敷中央	80.56	80.56	4	18	18	3	0
	鳥 取	100.00	81.08	4	53	58	3	5		倉敷東	92.44	83.72	4	40	43	4	3
	鳥取中央	80.72	78.31	4	41	42	0	1		倉敷南	91.54	65.70	4	66	65	5	-1
	鳥取北	79.51	77.56	4	54	54	6	0		倉敷水島	66.42	61.65	5	31	31	0	0
	鳥取西	84.65	75.44	4	53	56	0	3		倉敷瀬戸内	90.54	72.59	4	37	37	2	0
	計(8)	87.42	73.77		334	348	17	14		計(8)	86.07	75.67		320	332	14	12
第2グループ	境 港	81.97	69.95	4	42	46	0	4	第8グループ	真 庭	96.92	80.00	4	34	33	0	-1
	米 子	79.12	58.63	4	62	65	2	3		美 作	96.95	96.95	4	35	35	1	0
	米子中央	88.15	78.52	4	33	34	1	1		津 山	80.91	71.23	4	88	89	3	1
	米子東	85.27	69.75	4	77	80	5	3		津山中央	89.58	86.46	4	26	25	2	-1
	米子南	93.68	75.79	4	46	50	1	4		津山西	92.12	87.27	5	34	34	4	0
	計(5)	85.64	70.53		260	275	9	15		計(5)	91.30	84.38		217	216	10	-1
第3グループ	松 江	89.38	71.32	4	68	70	0	2	第9グループ	赤 磐	71.08	57.32	4	20	21	0	1
	松江東	91.52	80.18	4	57	57	0	0		備 前	64.58	53.77	4	43	60	6	17
	松江南	93.73	84.58	4	68	66	4	-2		岡 山	89.30	70.40	4	105	113	0	8
	松江しんじ湖	89.35	74.90	4	63	66	9	3		岡山東	93.03	79.69	4	85	86	0	1
	隠岐西郷	76.00	59.00	4	26	27	0	1		岡山北西	91.33	81.63	4	49	52	4	3
	計(5)	88.00	74.00		282	286	13	4		岡山後楽園	84.43	73.11	4	51	53	0	2
第4グループ	平 田	90.44	80.60	4	38	37	1	-1	第10グループ	計(6)	82.29	69.32		353	385	10	32
	出 雲	81.41	71.79	3	48	51	1	3		岡山旭川	81.54	69.23	5	25	26	1	1
	出雲中央	82.99	74.83	3	50	49	3	-1		岡山中央	80.79	70.42	4	45	45	5	1
	出雲南	97.88	85.17	4	59	59	6	0		岡山北	77.40	68.18	4	45	45	0	0
	大 社	79.43	66.86	5	42	43	1	1		岡山南	83.03	73.44	4	151	161	13	10
	計(5)	86.43	75.85		237	239	12	2		玉 野	88.24	79.41	4	32	34	0	2
第5グループ	江 津	79.46	73.21	4	26	28	0	2	第11グループ	牛 窓	78.57	78.57	4	7	7	0	0
	浜 田	94.57	72.35	4	52	57	1	5		計(6)	81.60	73.21		305	318	19	14
	益 田	100.00	78.89	4	24	23	2	-1		岡山備南	79.08	70.47	5	35	36	4	1
	益田西	98.39	59.35	4	30	31	1	1		岡 山 城	96.30	88.89	4	27	27	4	0
	大 田	97.70	93.10	4	26	25	3	-1		岡山岡南	87.20	73.39	4	30	30	3	0
	計(5)	94.02	75.38		158	164	7	6		岡山丸の内	85.83	72.03	4	32	32	2	0
第6グループ	井 原	77.10	71.96	5	46	46	3	0	地区 クラブ 内の 状況	岡山西南	83.56	73.73	4	64	56	3	-8
	笠 岡	92.27	87.85	4	50	51	0	1		計(6)	87.26	76.19		261	255	22	-6
	笠岡東	83.93	78.57	4	42	41	1	-1		クラブ数	67RC						
	新 見	76.09	67.39	4	16	23	1	7		7月1日現在会員数	3,027名						
	総 社	71.22	66.91	4	37	39	7	2		2月末日会員数	3,128名						
	総社吉備路	87.86	85.51	4	35	36	3	1		内 女性会員数	152名						
	高 梁	85.25	74.42	5	44	44	3	0		純増	102名						
	玉 島	90.97	87.41	5	30	30	1	0		2月出席率	Make-up後 86.36%						
計(8)	83.09	77.50		300	310	19	10	ホームクラブ 75.05%									

国際ロータリー第2690地区
2011-2012年度
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2011-2012年度 ガバナー
伊藤 文利

〒682-0887 鳥取県倉吉市明治町 1037-11 倉吉商工会議所 3 階
TEL 0858-24-2690 FAX 0858-24-2691
E-mail : ito2690@shirt.ocn.ne.jp